

町会長連合会だより

平成26年10月1日



唐沢山…藤原秀郷公の居城跡で、深い歴史を持つ山

第12号

発行 佐野市町会長連合会
編集 会報編集部会

ふるさと探訪

葛生【本町・倭町・相生町】合同祭事

夏の夜を彩る

葛生八坂神社祇園祭



八坂神社の由来

八坂神社は今から約800年程前の土御門天皇の建仁2年の頃、いたる所で悪疫が流行し、疫除けと五穀成就のため旧葛生町牧の地に一社を勧請し牛頭天王を祀りました。しかし、大洪水で多くの民家とともに社殿も流されてしまったところ、石川某という男性がこれを拾い現在地に一社を創建し、神幣、神鏡を祀ったと伝えられています。

祇園祭の由来

869年(貞観11年)、全国の数のを表す66本の鉾を卜部日良麿が立て、その鉾に諸国の悪霊を移し宿らせることで諸国の穢れを祓い、神輿3基を送り薬師如来の化身とされた牛頭天王を祀り御霊会を執り行いました。この年の御霊会が祇園祭の起源とされている。

葛生八坂神社祇園祭

毎年7月の第3金曜日、土曜日に葛生の本町、倭町、相生町が3町会合同で実施しています。祭りでは、素戔嗚命がお遷りになった



佐野市
葛生
(本町・倭町・相生町)

神輿を繰り出し、毎年氏子たちがかついでいます。また、烏帽子をかぶり、狩衣をまとった八坂神社の宮司が天狗(猿田彦命)とおかめ(天宇受売命)とともに御神輿をお供して歩いています。

今年は、7月18日(金)・19日(土)に開催し、3町会の子ども達を乗せた山車3台が町内を練り歩きお祭りを盛り上げました。

祇園祭を終えて

本町前川昭一町会長談「ふるさとの思い出として心に残った八坂神社祇園祭が盛大に終わり、年番町会の町会長として今はほっとしています。本当に素晴らしいお祭りが運営できましたのは、ひとえに、例年以上の多くの皆様の協力のおかげです。これこそ伝統ある3町内の「絆」だと思います。お祭は地域文化の結晶です。伝統を守り、継承していくには、祭を支えてくれる裏方が必要不可欠だと考えております。年々減少する若者を中心とする現役の「警備隊員」の不足をOBが如何に支援していくのか。今後は、女性や中高生の参加を呼びかけ、より幅広く運営していくことが、伝統継承のポイントではないかと考えております。」

平成25年度の事業報告(概要)

平成25年度は主に次の事業を行いました

市長との懇談会

8月に佐野・堀米地区、11月に植野・界・犬伏地区、2月に旗川・吾妻・赤見地区の町会長と市長との懇談会を開催しました。

新庁舎建設工事についてや高齢者の医療費について、交通安全及び防犯に関する地域での啓蒙について話し合いを行いました。



全市一斉清掃・道路愛護活動

栃木環境美化県民運動に合わせ、5月26日(日)に全町会による一斉清掃を実施しました。約10tのごみを回収しました。また、道路愛護月間に併せ、8月の第1週の日曜日にも町会による一斉清掃を実施しました。

視察研修

7月18日(木)全町会を対象とした視察研修会を川崎市：「かわさきエコ暮らし未来館」において実施しました。

地球温暖化問題、太陽光発電などの再生可能エネルギー、資源循環の3つのテーマについて学び、家庭や地域で行える節電やリサイクルについて研修を行いました。



その他

会報を2回発行いたしました。今後も市民の皆さんに、町会や町会長連合会の活動について多くの情報をお送りします。また、他市から佐野市への視察受入れや栃木県自治会連合会事業へも積極的に参加しました。

市長との懇談会

市長と町会長との懇談会を開催します。地域における課題や今後の佐野市について話し合い、町会と行政の連携を図ります。



平成26年度の主な事業

会報の作成

市民の皆さんに、より多くの町会に関する情報をお知らせするため、会報を年2回発行いたします。

行政と町会について

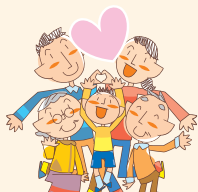
行政と町会との関係について、その内容を整理し協働体制がとれるような課題に取り組んでまいります。

その他として

- 視察研修
- 全市一斉清掃
- 永年表彰
- 福祉、教育、文化団体・会議などへの参画
- 栃木県自治会連合会事業への参加等

町会は地域において様々な役割を担っています！

町会は住民の皆さんと共に災害時の対応、隣近所との絆づくり、いざという時の相互扶助など地域のために様々な活動を行っている団体です。町会活動に対してより深いご理解をいただき、積極的に参加してください。



- **安全・安心な暮らしを守る活動** 町会では子どもたちの安全を守るための自主防犯パトロールや自主防災の組織をつくっています。また、防犯灯の維持管理や交通安全活動も町会が行っています。
- **親睦交流活動** 円滑な地域社会を進めるうえで、地域の人々が交流することは非常に重要です。町会では、お祭りや子ども会、敬老会への協力を通して子どもから高齢者までの暮らしを後押ししています。
- **環境美化活動** 地域で快適に暮らせるよう、清掃活動を通しての環境美化活動を行っています。ごみ集積所の管理運営も町会が行っています。
- **地域情報活動** 地域の事業案内や市役所・学校・警察などからの生活に必要な情報を回覧板や広報の配布を通して、提供しています。災害時などの緊急時においても有効的な手段であると言われています。

今後の中山間地の振興策を語り合う 町会長(田沼地域)と市長との懇談会を実施

8月19日(火) 田沼中央公民館において田沼地域の町会長が出席し、岡部市長との懇談会を行いました。

今回の市長との懇談会では旧田沼町の町会長で組織している、旧田沼地域町会長会が主導して懇談会へ臨み、市長へ今後の展望や、地域問題への取り組みについての議題を設定いたしました。

議論するテーマを「合併10周年の評価と検証」10年間で中山間地の振興は図られたか」とし、事前に39町会長を対象としたアンケート結果



をふまえて田沼地域にある様々な行政課題について、要望等を含めて真摯に懇談を行いました。

懇談の内容を、①合併の是非を問う②河川・



見など活発に交わされたことは大きな成果でした。

これまでは各町会から出された要望を市長との一問一答方式で行う懇談でしたが、今回、参加者全員が抱えている共通課題をもとに話し合いが進められたことは一歩前進した懇談になったと思います。

最後に、これまでのように事前に10町会から提出された要望等について、市長から口頭回答や文書回答がありました。

道路行政を問う③生涯学習の拠点としての公民館問題の今後の取り組み方を問う④今後の中山間地振興策を問う、

の4点に焦点化し、町会内での具体的事例等をもとにした要望・意見

空き家対策の現状を学ぶ

町会長連合会、新潟県見附市を訪れる

去る7月17日(木)、市町会長連合会では、新潟県見附市を訪問し、見附市の行政の現状視察研修を行ってきました。

研修内容として「見附市の地域コミュニティ活動について」「見附市の空き家対策について」の二つでした。



特に、空き家対策については、佐野市内のほとんどの町会において、速やかな解決を求められている課題であり、当連合会としても重要な課題

と考えておりました。

見附市では、空き家対策の条例が制定され、老朽危険空き家が推進されたとのことでした。

先進地域の現状を学べたことは、今後の町会活動において大きな収穫となりました。

空き家対策に関する 条例制定の要望書を市に提出

連合会では、地域の実情に応じた実効性のある空き家対策を進めていくためには、条例の制定が必要と考え、8月12日付で当連合会から市長へ、「空き家対策に関する条例制定の要望書」を提出しました。

今後、生活環境の保全並びに安全で安心なまちづくりの推進のために一刻も早く、実効性のある空き家対策を行えるよう、市と協働しながら当連合会としても取り組みでいく考えです。



市民活動モデル町会の取り組み紹介

上羽田町会 閑馬上町会

市民活動モデル町会 支援事業とは？

佐野市では住民主体のより良い地域をつくるために、地域住民の助け合いや良好な生活環境の保全、地域の一体感の醸成などの地域の課題に、住民が主体となって取り組む元気な地域活動を助成金の交付などによって支援しています。詳しくは佐野市市民活動促進課までお問い合わせください。



※アツミケシ：ケシ科の植物で、日本ではあへん法で栽培が原則禁止されている種に指定されています。

ふくろう隊横塚和夫隊長談「高齢化が進む中、ふくろう隊の後継者を見つけていくことが課題ではありますが、地域の方々の協力もあり、今後さらに活動が活発になることを期待しています。」

また、文化財保護やPRにも力を入れており、「地域の宝を後世に継承する」といった強い意志のもと、町内で活発に活動を行っています。

町内の60代男性を中心に、町内の高齢者世帯やひとり暮らし世帯の見守りと庭木の手入れや、公民館や通学路、河川堤防などでの除草作業を行います。昨年の4月には、警察・保健所と連携し、休耕田に群生した「アツミケシ」の除去作業を行いました。

また、文化財保護やPRにも力を入れており、「地域の宝を後世に継承する」といった強い意志のもと、町内で活発に活動を行っています。

上羽田

ふくろう隊

上羽田町会は、市の南西部に位置する町会です。

閑馬上

里山を守る会

閑馬上町会は、市の北西部に位置する町会です。

近年、同町会では獣害が目立ち、住民の高齢化などにより耕作放棄地の拡大が懸念されていたことから、対策を行うため「里山を守る会」は発足しました。

現在、イノシシやシカなどの有害鳥獣の被害から里山や集落周辺を守るため、里山の雑草を食べるヤギやヒツジを放牧して里山の整備に取り組んでいます。

平成25年12月14日、閑馬上町会の里山林で、「ヤギ・ヒツジ小屋の完成を祝う会」が行われ、会場には、都会からの協力者の方や地元のごもたちなど、多くの人々が訪れ、ヤギと触れ合っていました。式典では、こどもたちによる除幕式や記念撮影が和やかな雰囲気の中行われました。

また、ヤギ・ヒツジを活用した地域おこしを活発に行っています。閑馬上町会木村弘町会長談「将来的には町会内の耕作放棄地を無くしたいと思っています。また、活動を通じ都会から訪れた方々が閑馬上町会の魅力を感じ、永住してくる事にも期待しており、より一層地域を活性化していきたいと考えています。」



お申込み
お問い合わせ先

佐野市市民活動促進課 佐野市亀井町2658番地1

電話：20-3812 FAX：22-9104 E-mail：siminkatudou@city.sano.lg.jp

編集後記

◆夏の風物詩である祭。かつては、地域住民の憩いと集いの場であり、人々の絆をつなぐ一大イベントでした。近年、社会情勢の変化により、祭りの灯が各地で消えようとしています。培われた住民間の絆も薄らいできました。

◆旧葛生地域で開催される八坂神社祇園祭は圧巻です。本町・倭町・相生町の3町合同祭事。年番町会のご苦労に感謝です。今後、継承に当たっては多くの課題を乗り越えなければならぬとのこと。祇園祭の灯が絶えないことを切望します。

◆空き家対策に関する条例制定の要望書提出。研修の成果を行動へと。町会長連合会の快挙といえよう。速やかな実現を願っています。

◆地域の特色を生かした各町会の活動が新鮮、かつユニークです。町会長の指導力が的確に反映され、住民の安心・安全を守る活動が進められている。何か一つでいい。一歩踏み出してみませんか。

(編集部会長 飯田)

発行者 佐野市町会長連合会

〒307-8501

栃木県佐野市亀井町2658-1

佐野市役所南飯庁舎1階

☎0283-20-3812

発行責任者

編集部会長

編集部会長

篠崎芳朋

飯田明生

石山悦雄

小早川房平

室岡宣幸

長谷川博

柳澤敬一

▼佐野市町会長連合会は全域167町会で組織されています。